HP Compaq LA2006x、LA2206x、および LA2306x WLED バックライト LCD モニター

ユーザー ガイド

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2010 年 8 月

製品番号：630579-291

このガイドについて

このガイドでは、モニターのセットアップ、ドライバーのインストール、オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用方法、トラブルの解決方法、およびモニターの仕様について説明します。

⚠ **警告！** その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こすおそれがあるという警告事項を表します。

△ **注意：** その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こすおそれがあるという注意事項を表します。

注記： 重要な補足情報です。

目次

1 製品の特長 1
HP LCD モニター 1

2 安全および保守に関するガイドライン 3
安全に関する重要な情報 3
保守に関するガイドライン 4
モニターの清掃 4
モニターの運搬 5

3 モニターのセットアップ 6
モニター台の展開：ヒンジが 1 つのモデル 6
背面の各部 7
ケーブルの接続 8
モニターの調整 10
モニターの電源投入 12
USB デバイスの接続 13
モニター台の取り外し 14
モニターの取り付け 15
製品ラベルの位置 16
ロック ケーブルの取り付け 16

4 モニターの操作 17
ソフトウェアおよびユーティリティ 17
情報ファイル 17
Image Color Matching ファイル 17
.INF および.ICM ファイルのインストール 18
CD からのインストール 18
Web サイトからのダウンロード 18
自動調整機能の使用 19
フロント パネルの各部 20
モニターの設定の調整 21
オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用 21
オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの選択 22
画質の最適化 26
[HP Display Assistant]ユーティリティの使用 27
モニターの状態の確認 28
スリープ タイマー モード 29

付録 A　トラブルシューティング ... 31
一般的なトラブルの解決方法 ... 31
オンライン技術サポート ... 33
お問い合わせになる前に ... 33

付録 B　技術仕様 ... 34
LA2006x モデル ... 34
LA2206x モデル ... 35
LA2306x モデル ... 36
プリセット ディスプレイ解像度について ... 37
LA2006x モデル ... 38
LA2206x モデル ... 38
LA2306x モデル ... 39
ユーザー モードの使用 ... 40
エナジー セーブ機能 ... 40

付録 C　規定に関するご注意 ... 41
Federal Communications Commission Notice（米国向け） ... 41
Modifications ... 41
Cables ... 41
Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only) ... 41
Canadian Notice（カナダ向け） ... 42
Avis Canadien（カナダ向け） ... 42
European Union Regulatory Notice（欧州連合向け） ... 42
German Ergonomics Notice（ドイツ向け） ... 43
日本向け ... 43
Korean Notice（韓国向け） ... 43
電源コードの要件 ... 43
日本国内での電源コードの要件 ... 44
製品環境に関するご注意 ... 44
国際エネルギー スター プログラムへの準拠 ... 44
有害物質の破棄 ... 45
Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け） ... 45
HP リサイクル プログラム ... 45
化学物質 ... 45
製品の部材表示について ... 45
Turkey EEE Regulation（トルコ向け） ... 46

付録 D　LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針 ... 47

1 製品の特長

HP LCD モニター

液晶ディスプレイ（LCD）では、アクティブ マトリックス方式の薄膜トランジスタ（TFT）パネルを採用しています。モニターのモデルおよび特長は以下のとおりです。

- HP LA2006x モデルの場合は表示領域 20 インチ（対角長 50.8 cm）のディスプレイ、1600×900 の解像度以下でフル スクリーン サポート（縦横比を変更しない状態での、画像の最大サイズのカスタム スケール機能を含む）
- HP LA2206x モデルの場合は表示領域 21.5 インチ（対角長 54.6 cm）のディスプレイ、1920×1080 の解像度以下でフル スクリーン サポート（縦横比を変更しない状態での、画像の最大サイズのカスタム スケール機能を含む）
- HP LA2306x モデルの場合は表示領域 23 インチ（対角長 58.4 cm）のディスプレイ、1920×1080 の解像度以下でフル スクリーン サポート（縦横比を変更しない状態での、画像の最大サイズのカスタム スケール機能を含む）
- 従来の CCFL バックライトよりも鮮明で、消費電力の少ない WLED バックライトを採用したノングレア パネル
- さまざまな角度から鮮明に見ることができる画面表示
- 傾斜角度調整機能
- 縦長モードへのディスプレイ回転機能
- 画面の左右の向きおよび高さを調整可能
- モニター パネルを固定器具に取り付ける場合に便利な取り外し可能なモニター スタンド
- VGA アナログ ビデオ入力信号をサポート：VGA ビデオ（信号）ケーブルが付属
- DVI デジタル ビデオ入力信号をサポート：DVI-D ビデオ ケーブルが付属
- DisplayPort デジタル ビデオ入力信号をサポート：DisplayPort ケーブルは別売
- USB 2.0 ハブ（アップストリーム コネクタ（コンピューターに接続）×1、ダウンストリーム コネクタ（USB デバイスに接続）×2）
- モニターの USB ハブとコンピューターの USB コネクタを接続する USB ケーブルが付属
- 別売の HP スピーカー バーをサポート
- プラグ アンド プレイ機能（システムでサポートされる場合）
- 左右からの視線を遮断するプライバシ フィルター（別売）用スロット
- モニターのリア パネルにオプションのセキュリティ ロック ケーブル用のスロットを搭載
- ケーブルやコードの配線に役立つケーブル管理機能
- 設定を簡単にし、画面の最適化を可能にする、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）による画面調節機能（複数の言語に対応）

- モニターの設定を調整する[HP Display Assistant]
- 盗難防止用ソフトウェア
- DVI および DisplayPort 入力での HDCP によるコピー防止機能
- モニター ドライバーおよび製品の説明書が収録された『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）
- 低消費電力の環境要件に準拠したエナジー セーブ機能
- 国際エネルギー スター プログラムに準拠
- インテリジェント マネジメント機能による資産管理
- 以下の規定に準拠
  - European Union CE Directives
  - Swedish TCO Requirements

2 安全および保守に関するガイドライン

安全に関する重要な情報

お使いのモニターには電源コードが付属しています。この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属している電源コードのみをお使いください。モニターに接続する適切な電源コードについては、43 ページの 「電源コードの要件」を参照してください。

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

・必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

・電源コードは、製品の近くの手が届きやすい場所にあるアースされたコンセントに差し込んでください。

・製品への外部電源の供給を完全に遮断するには、電源を切った後、コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の姿勢、および健康上/作業上の習慣について説明しており、さらに、重要な電気的/物理的安全基準についての情報も提供しています。『快適に使用していただくために』は、HP の Web サイト（http://www.hp.com/ergo/から[日本語]を選択します）から参照できます。また、モニターに説明書等のドキュメントを収録した CD が付属している場合はこの CD にも収録されています。

△ **注意：** モニターおよびコンピューターを保護するために、コンピューターおよび周辺装置（モニター、プリンター、スキャナーなど）のすべての電源コードをマルチソケットや無停電電源装置（UPS）などのサージ防止機能のあるサージ保安器に接続してください。マルチソケットの種類によっては、サージに対応していない場合があります。サージ防止機能のあるマルチソケットを使用することをおすすめします。

お使いの HP LCD モニターは、十分な大きさがあり安定している家具に設置してください。

⚠ **警告！** 化粧だんす、本棚、棚、机、スピーカー、チェスト、またはカートなどの上に不適切に LCD モニターを設置した場合、LCD モニターが倒れて怪我をするおそれがあります。

LCD モニターに接続するすべてのコードおよびケーブルについて、抜けたり、引っかかったり、人がつまずいたりしないように注意する必要があります。

保守に関するガイドライン

モニターの性能を向上させ長く使用するために、以下のガイドラインを参考にしてください。

- モニターのキャビネットを開けたり自分で修理したりしないでください。このガイドに記載されている調整機能のみを使用してください。正常に動作しない場合や、モニターを落としたり破損したりした場合には、HP のサポート窓口にお問い合わせください。
- 外部電源は、モニター裏面のラベルに記載された条件に適合するものを使用してください。
- コンセントに接続する機器の定格電流の合計がコンセントの許容電流を、またコードに接続する機器の定格電流の合計がコードの許容電流を超えないようにしてください。各機器の定格電流（AMPS または A）は本体に貼付された電源のラベルに記載されています。
- モニターは、手が届きやすい場所にあるコンセントの近くに設置します。電源コードをコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードの部分を引っぱって抜かないでください。
- モニターを使用していないときには、モニターの電源を切るようにしてください。スクリーンセーバー プログラムを使用したり、モニターを使用していないときに電源を切るようにしたりすると、モニターを長くお使いいただけます。

注記： 画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

- キャビネットのスロットや開口部は通気のために必要です。スロットや開口部をふさいだり覆ったりしないでください。また、異物を押し込んだりしないでください。
- モニターを落としたり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり、電源コードを足で踏んだりしないでください。
- モニターは通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにしてください。
- モニター スタンドを取り外すときは、モニターの表面を傷つけたり、汚したり、破損したりしないように、表面が柔らかい場所に前面を下にして置いてください。

モニターの清掃

1. モニターの電源を切ってモニターの背面から電源コードを抜きます。
2. 清潔で柔らかい、静電気防止加工のされた布で画面およびキャビネットを拭いて、モニターからほこりを取り除きます。
3. 汚れが落ちにくい場合は、水とイソプロピル アルコールを 50：50 に混合した溶液を使用します。

△ **注意：** 布にクリーナーをスプレーし、湿らせた布を使用して画面をそっと拭きます。決して、クリーナーを画面に直接吹きかけないでください。クリーナーがベゼル裏側に入ってしまい、電子部品が損傷するおそれがあります。

注意： ベンゼン、シンナーなどの揮発性の溶剤など、石油系の物質を含むクリーナーをモニター画面やキャビネットの清掃に使用しないでください。これらの化学物質を使用すると、モニターが損傷するおそれがあります。

モニターの運搬

モニターを運搬する場合は、モニター出荷時の梱包箱および緩衝材、またはそれらと同等の材料を使用してしっかり梱包してください。

3 モニターのセットアップ

モニターをセットアップするには、モニター、コンピューター システム、およびコンピューターに接続されているその他の装置の電源がオフになっていることを確認してから、以下の操作を行います。

モニター台の展開：ヒンジが 1 つのモデル

1. モニターを梱包箱から取り出し、ディスプレイ パネル前面を下向きにして安定した平らな場所に置きます。
2. 一方の手でモニター台を押さえながら（1）、もう一方の手でスタンドの上部をつかみ、モニター本体を 90°回転させて展開します（2）。

△ **注意：** LCD パネルの表面には触れないでください。パネルに圧力を加えると、色が不均一に表示されたり液晶が間違った向きで表示されたりすることがあります。このような状態になった場合、画面を元に戻すことはできません。

図 3-1 モニター台の展開：ヒンジが 1 つのモデル

注記： モニターを最初に展開するときは、モニター本体が固定されているため、最も高い位置に調整できません。モニター本体を最も高い位置に調整するには、モニター本体を押し下げて固定を解除してから、モニター本体を最も高い位置まで引き上げます。10 ページの 「モニターの調整」の手順 3 を参照してください。

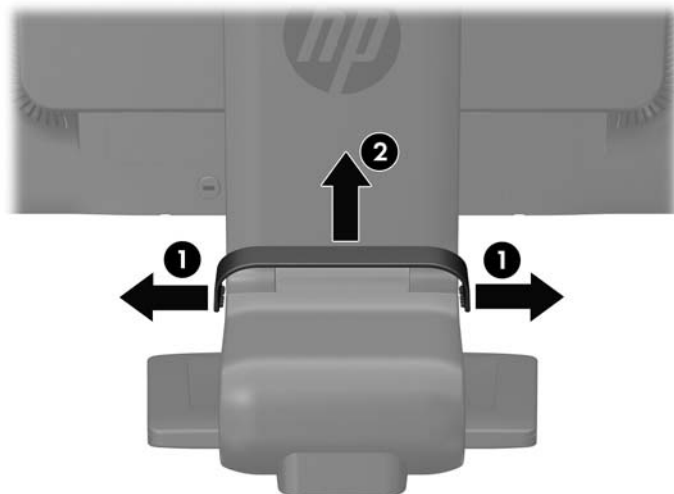
背面の各部

図 3-2　背面の各部

名称		機能
1	外部電源コネクタ	外部電源コードをモニターに接続します
2	DisplayPort	DisplayPort ケーブル（別売）をモニターに接続します
3	DVI-D	DVI-D ケーブルをモニターに接続します
4	VGA	VGA ケーブルをモニターに接続します
5	USB アップストリーム コネクタ	モニターの USB ハブ コネクタとホストの USB コネクタ/ハブを USB ハブ ケーブルで接続します
6	USB ダウンストリーム コネクタ（×2）	別売の USB デバイスをモニターに接続します

ケーブルの接続

1. コンピューターの近くの作業がしやすく通気の良い場所にモニターを置きます。
2. ケーブルをまとめるためのクリップの両端を外側に引っ張り（1）、クリップを持ち上げて（2）、モニター台からクリップを取り外します。

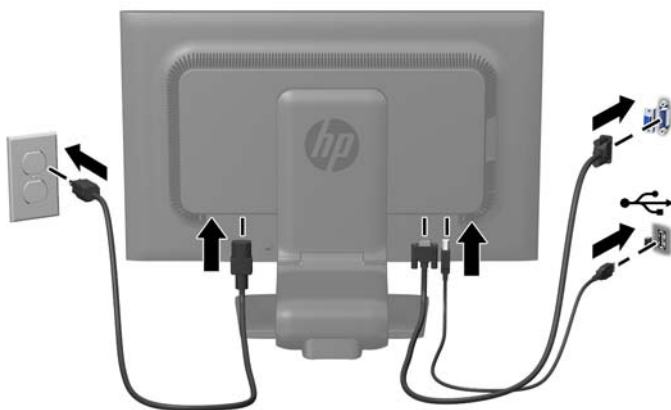
   図 3-3 ケーブルをまとめるためのクリップの取り外し

3. VGA ビデオ ケーブル、DVI-D ビデオ ケーブル、または DisplayPort ビデオ ケーブルを接続します。

   注記： このモニターでは、アナログまたはデジタル入力がサポートされます。ビデオ モードは、使用するビデオ ケーブルの種類によって決まります。入力系統から、有効なビデオ信号がモニター側で自動的に判別されます。手動でビデオ入力信号を選択するには、モニターのフロント パネルにある＋/source（プラス/ソース）ボタンを押すか、メニュー ボタンを押してオンスクリーン ディスプレイ（OSD）機能を使用します。

   - アナログ操作を行う場合は、付属の VGA ビデオ ケーブルを使用します。VGA ビデオ ケーブルの一方の端をモニターのリア パネルの VGA コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの VGA コネクタに接続します。
   - DVI デジタル操作の場合は、付属の DVI-D ビデオ ケーブルを使用します。DVI-D ビデオ ケーブルの一方の端をモニターのリア パネルの DVI コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの DVI コネクタに接続します。
   - DisplayPort デジタル操作の場合は、DisplayPort ビデオ ケーブル（別売）を使用します。DisplayPort ビデオ ケーブルの一方の端をモニターのリア パネルの DisplayPort コネクタに接続し、もう一方の端をコンピューターの DisplayPort コネクタに接続します。

4. 付属の USB ハブ ケーブルの一方の端をコンピューターのリア パネルの USB ハブ コネクタに接続して、もう一方の端をモニターの USB アップストリーム コネクタに接続します。

5. 電源コードの一方の端をモニターのリア パネルの外部電源コネクタに接続して、もう一方の端を電源コンセントに接続します。

図 3-4 ケーブルの接続

⚠ **警告！** 感電や装置の損傷を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

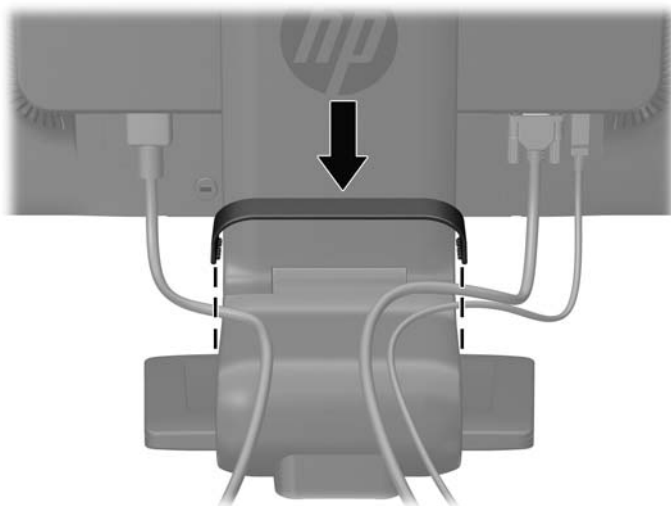
必ず電源コードのアース端子を使用して接地してください。アース端子は重要な安全機能です。

電源コードは、装置の近くの手が届きやすい場所にあるアースされた電源コンセントに接続してください。

モニターへの外部電源の供給を遮断するには、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

安全のために、電源コードや電源ケーブルの上には物を置かないでください。また、コードやケーブルは、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように配線してください。電源コードや電源ケーブルを引っぱらないでください。コンセントから抜くときは、プラグの部分を持ってください。電源コードおよび電源コンセントの外観は国や地域によって異なります。

6. ケーブルをまとめるためのクリップを使用して、ケーブルを所定の位置に固定します。クリップをモニター台の湾曲したネックに合わせ、クリップの両端のタブがモニター台のスロットに収まってカチッという音がするまでまっすぐに押し下げます。

図 3-5 ケーブルをまとめるためのクリップの取り付け

モニターの調整

注記： お使いのモデルのモニターの外観は、以下に示す図と異なる場合があります。

1. モニターのパネルを前または後ろに傾けて、見やすい位置に設定します。

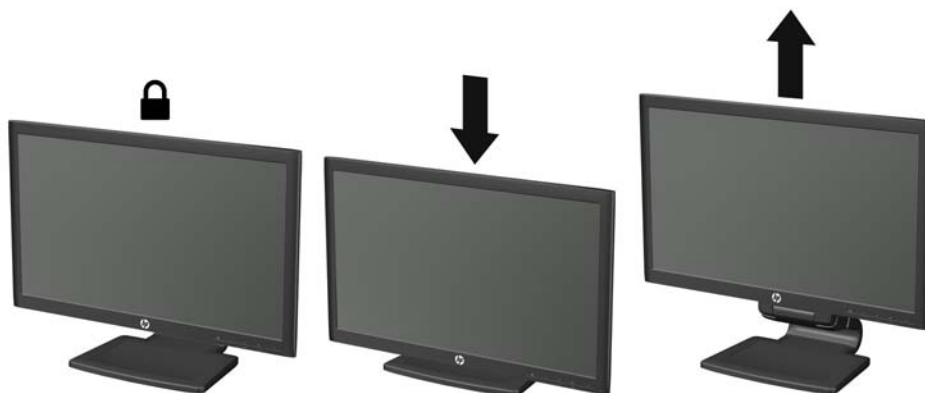
   図 3-6 画面の傾きの調節

2. モニターを左または右に回転させて、最適な表示角度に設定します。

   図 3-7 左右の向きの調整

3. モニターの高さを、作業環境に合った見やすい位置に調整します。モニター パネルの上端は、目の高さを超えないようにしてください。眼鏡やコンタクト レンズなどを使用している場合は、モニターの位置を低くし、傾ける方が作業しやすい場合があります。作業時の姿勢を調整した場合は、モニターの位置も必ず調整しなおしてください。

注記： モニターを最初に展開するときは、モニター本体が固定されているため、最も高い位置に調整できません。モニター本体を最も高い位置に調整するには、モニター本体を押し下げて固定を解除してから、モニター本体を最も高い位置まで引き上げます。

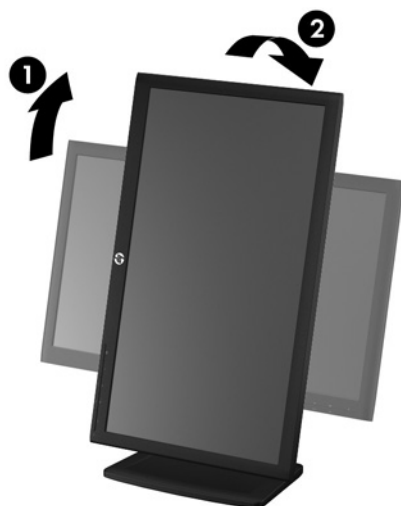
図 3-8 高さの調整

4. 必要に応じて、以下の要領でモニターの表示方向を横向きから縦向きに回転します。

   a. モニターが最も高い位置になるように調整してから、完全に後方に傾いた位置まで傾斜角度を調整します（1）。

   b. モニターを時計回りに 90°回転させて、横向きから縦向きに変更します（2）。

△ **注意：** 回転させるとき、モニターが最も高い位置で完全に後ろに傾斜していないと、モニター パネルの右下隅がモニター台に接触するため、モニターが損傷するおそれがあります。

別売のスピーカー バーをモニターに取り付ける場合は、モニターを回転させてから取り付けてください。モニターを回転させてから取り付けないと、モニターの回転中にスピーカー バーが台に接触し、モニターまたはスピーカー バーが損傷する可能性があります。

図 3-9 モニターの回転

注記： 情報を縦向きに表示するには、『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）に収録されている[HP Display Assistant]ソフトウェアをインストールします。オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの配置も縦向きに変更できます。OSD メニューを回転するには、フロント パネルにあるメニュー ボタンを押し、メニューから［**OSD Control**］（OSD コントロール）→［**Rotate OSD**］（OSD の回転）の順に選択して、OSD メニューにアクセスします。

モニターの電源投入

1. 電源ボタンを押してコンピューターの電源を入れます。
2. モニターのフロント パネルにある電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。

△ **注意：** モニターに長時間*一定の画像を表示したままにしておくと、残像が表示されることがあります。モニター画面に残像が表示されないようにするには、常にスクリーン セーバー アプリケーションを有効に設定しておくか、長時間モニターを使用しないときはモニターの電源を切ります。残像はすべての LCD 画面で発生する可能性がありますが、一定の時間が経過すると自然に消えます。画面に「焼き付き」が生じてしまったモニターは、HP の保証の対象外です。

*ここで長時間とは、使用されていない状態が 12 時間連続することを指します。

注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている可能性があります。この機能を無効にするには、モニターの電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。

注記： 電源ランプはオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューで無効にできます。モニターのフロント パネルのメニュー ボタンを押して、［**Management**］（マネジメント）→［**Bezel Power LED**］（ベゼルの電源ランプ）→［**Off**］（オフ）の順に選択します。

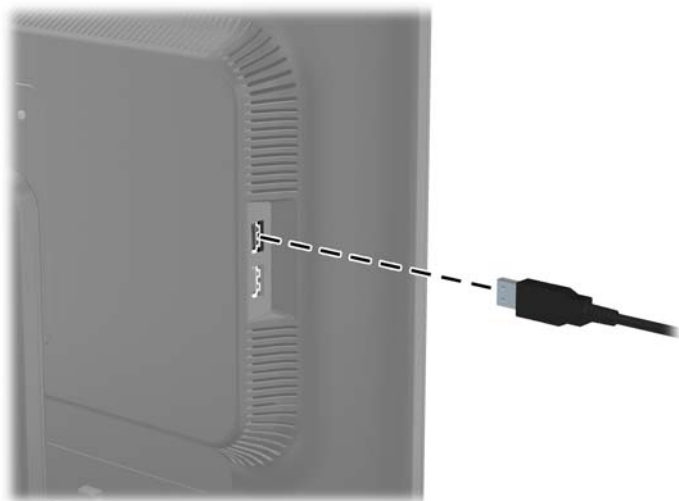
モニターの電源が入ると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブなビデオ信号の入力（DisplayPort、DVI、または VGA）、ソース自動切り換え設定のステータス（オンまたはオフ、工場出荷時の初期設定はオン）、初期設定のソース信号（工場出荷時の初期設定は DisplayPort）、現在のプリセット ディスプレイ解像度、および推奨されるプリセット ディスプレイ解像度が示されます。

モニターは入力信号をスキャンしてアクティブな入力を検出し、その入力を使用して画面を表示します。2 つ以上の入力がアクティブな場合は、初期設定の入力ソースが表示されます。初期設定のソースがアクティブな入力に含まれていない場合は、DisplayPort、DVI、VGA という順序で、最も優先順位の高い入力が表示されます。フロント パネルのメニュー ボタンを押し、[**Source Control**]（ソース コントロール）→[**Default Source**]（初期設定のソース）の順に選択すると、OSD で初期設定のソースを変更できます。

USB デバイスの接続

USB コネクタには、デジタル カメラ、USB キーボードや USB マウスなどのデバイスを接続できます。モニターの側面に 2 つの USB コネクタが装備されています。

注記： モニターの USB 2.0 コネクタを有効にするには、USB ハブ ケーブルをモニターからコンピューターに接続する必要があります。8 ページの 「ケーブルの接続」の手順 4 を参照してください。

図 3-10 USB デバイスの接続

モニター台の取り外し

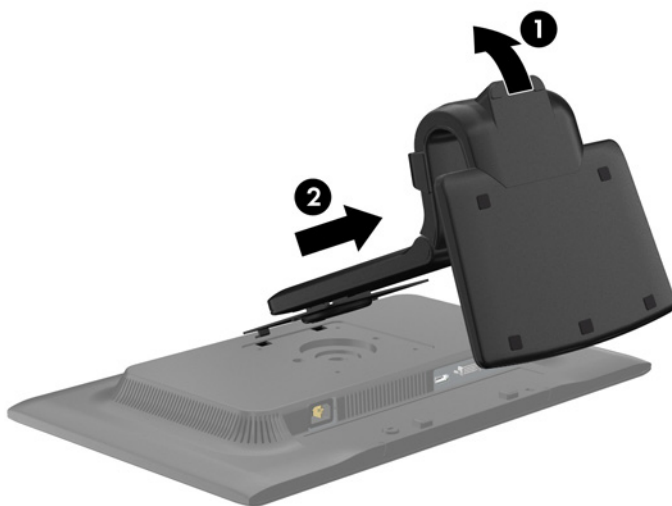
モニターを壁掛け式にしたり、またはスイング アームやその他の固定器具を取り付けたりするために、モニター パネルからモニター台を取り外すことができます。

△ **注意：** モニター台の取り外し作業を始める前に、モニターの電源が切られていること、および電源ケーブルとビデオ ケーブルが電源コンセントやコンピューターから取り外されていることを確認してください。また、モニターに接続されているすべての USB ケーブルを取り外してください。

1. モニターからビデオ ケーブル、電源ケーブル、および USB ケーブルを取り外します。
2. モニターの前面を下向きにして、清潔な乾いた布を敷いた、安定した平らな場所に置きます。
3. モニター台を時計回りに 45°回転させ、モニターの背面からネジを取り外してから、モニター台を反時計回りに 45°回転させ、モニターの背面からもう 1 つのネジを取り外します。

   図 3-11 モニター台のネジの取り外し

4. モニター台を上向きに回転させてから（1）後方に引いて（2）、モニター スタンドのタブをモニター本体のスロットから外します。

   図 3-12 モニター台の取り外し

モニターの取り付け

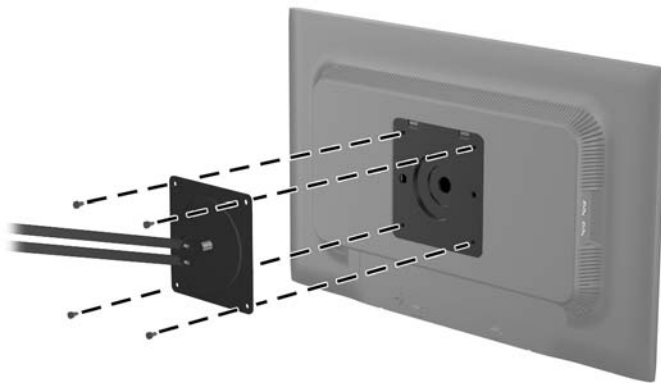
モニター パネルは、壁、スイング アーム、またはその他の固定器具に取り付けることができます。

注記： この固定器具は、UL または CSA 準拠の壁への取り付け器具で支えるように設計されています。

1. モニター パネルからモニター台を取り外します。14 ページの 「モニター台の取り外し」を参照してください。

   注意： このモニターは、VESA 準拠の 100 mm 間隔の取り付け穴をサポートします。このモニターに他社製の固定器具を取り付けるには、4 mm、0.7 ピッチのネジ穴が 4 個ある器具で、長さ 10 mm のネジを使用する必要があります。これより長いネジは、モニターを損傷させるおそれがありますので使用しないでください。また、取り付ける固定器具が VESA 基準に準拠していることと、モニター本体の質量を支えられる仕様になっていることを確認してください。最適な状態で使用するには、モニターに付属の電源コードおよびビデオ ケーブルを使用してください。

2. モニターをスイング アームに取り付けるには、4 つの 10 mm ネジを、スイング アーム プレートにある穴に通してからモニターのネジ穴に差し込みます。

   図 3-13 モニターの取り付け

   モニターを他の固定器具に取り付けるには、固定器具に付属の説明書に沿って操作して、モニターを安全に取り付けてください。

3. ケーブルをモニター本体に接続しなおします。

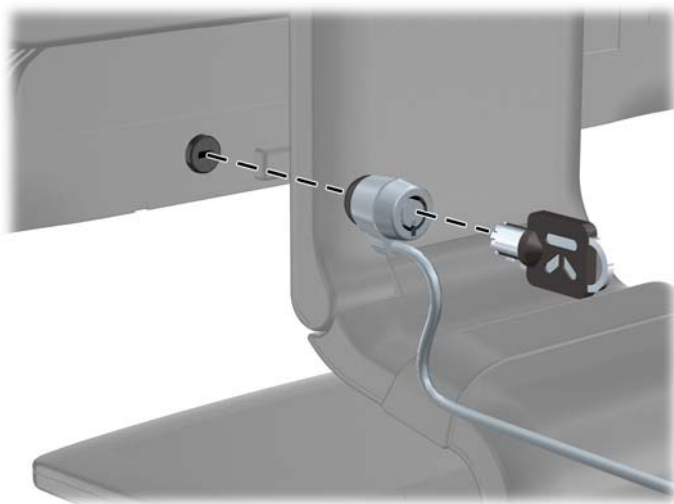
製品ラベルの位置

モニターの製品ラベルには交換部品番号、製品番号、およびシリアル番号が記載されています。お使いのモデルのモニターについて HP にお問い合わせになるときに、これらの番号が必要になる場合があります。製品ラベルはモニター本体の背面部分に貼付されています。

図 3-14 製品ラベルの位置

ロック ケーブルの取り付け

別売のロック ケーブルを使用して、モニターを固定物に固定できます。

図 3-15 ロック ケーブルの取り付け

4 モニターの操作

ソフトウェアおよびユーティリティ

モニターには、コンピューターにインストール可能な以下のファイルが収録された CD が付属しています。

- .INF（情報）ファイル
- .ICM（Image Color Matching）ファイル
- 自動調整用パターン ユーティリティ
- モニター モデルごとのその他のソフトウェア

注記： モニターに CD が付属していない場合は、.INF および.ICM ファイルを HP モニター サポート Web サイトからダウンロードできます。この章の18 ページの 「Web サイトからのダウンロード」を参照してください。

情報ファイル

.INF ファイルは、モニターとお使いのコンピューターのグラフィックス アダプターとの互換性を確保するために、Microsoft® Windows®オペレーティング システムが使用するモニター リソースを定義します。

このモニターは Microsoft Windows プラグ アンド プレイ機能に対応しており、.INF ファイルをインストールしなくても正常に動作します。モニターのプラグ アンド プレイ機能を利用するには、コンピューターのグラフィックス カードが VESA DDC2 に準拠しており、モニターが直接グラフィックス カードに接続されている必要があります。BNC 分岐コネクタまたは分配バッファー/分配ボックスを通して接続されている場合、プラグ アンド プレイ機能は利用できません。

Image Color Matching ファイル

.ICM ファイルはグラフィックス プログラムとともに使用されるデータ ファイルで、モニターとプリンター間またはスキャナーとモニター間の色調を調整します。このファイルは、プロファイルをサポートするグラフィックス プログラムの実行時に有効になります。

注記： .ICM のカラー プロファイルは、ICC（International Color Consortium）のプロファイル形式の仕様に基づいて記述されています。

.INF および.ICM ファイルのインストール

.INF および.ICM ファイルを更新する必要がある場合は、これらのファイルを CD からインストールするか、Web サイトからダウンロードしてインストールできます。

CD からのインストール

.INF および.ICM ファイルを CD からコンピューターにインストールするには、以下の操作を行います。

1. CD をコンピューターの CD-ROM の読み出しが可能なオプティカル ドライブに挿入します。CD のメニューが表示されます。
2. ［**Monitor Driver Software Readme**］（モニター ドライバー ソフトウェアの Readme）ファイルを読みます。
3. ［**Install Monitor Driver Software**］（モニター ドライバー ソフトウェアをインストールする）を選択します。
4. 画面の説明に沿って操作します。
5. Windows の[画面のプロパティ]に適切な解像度およびリフレッシュ レートが表示されていることを確認します。

注記： インストール時にエラーが発生した場合は、デジタル署名されているモニターの.INF および.ICM ファイルを手動でインストールする必要があります。CD の[Monitor Driver Software Readme]ファイルを参照してください。

Web サイトからのダウンロード

最新のバージョンの.INF および.ICM ファイルを HP のモニターのサポート Web サイトからダウンロードするには、以下の操作を行います。

1. http://www.hp.com/support/にアクセスし、国または地域を選択します。
2. [ドライバー & ソフトウェア ダウンロード]を選択してお使いの製品名などを[製品名/製品番号で検索]ボックスに入力し、[>>]ボタンをクリックしてサポート ページおよびダウンロード ページへのリンクをクリックします。
3. システムがインストール要件を満たしていることを確認します。
4. 画面の説明に沿って、ソフトウェアをダウンロードします。

自動調整機能の使用

モニターの OK/auto（OK/自動）ボタンおよび付属の CD に収録されている自動調整用パターン ソフトウェア ユーティリティを使用して、VGA（アナログ）入力対応の画面の画質を最適化します。

お使いのモニターが DVI または DisplayPort 入力対応の場合は、この手順を行わないでください。お使いのモニターが VGA 入力対応の場合は、この手順を行うことで以下の画質状況が修正されます。

- ぼやけて不明瞭な焦点
- ゴースト、線、および影の表示
- 薄い縦線
- 画面上を上下に移動する横線
- 中心がずれて表示される画像

自動調整機能を使用するには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源を入れてから 20 分間のウォーム アップ時間をとります。
2. モニターのフロント パネルにある OK/auto ボタンを押します。
   - メニュー ボタンを押し､オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メイン メニューから**[Image Control]**（イメージ コントロール）→**[Auto-Adjustment]**（自動調整）の順に選択することもできます。この章の21 ページの 「モニターの設定の調整」を参照してください。
   - 期待する結果が得られない場合は、引き続き以下の操作を行います。
3. CD をディスク ドライブに挿入します。CD メニューが表示されます。
4. **[Open Auto-Adjustment Software]**（自動調整ソフトウェアを開く）を選択します。セットアップのためのテスト パターンが表示されます。
5. モニターのフロント パネルにある OK/auto ボタンを押すと、安定した画像が画面の中央に表示されます。
6. Esc キーまたはキーボードの任意のキーを押して、テスト パターンを終了します。

フロント パネルの各部

図 4-1　モニターのフロント パネルの各部

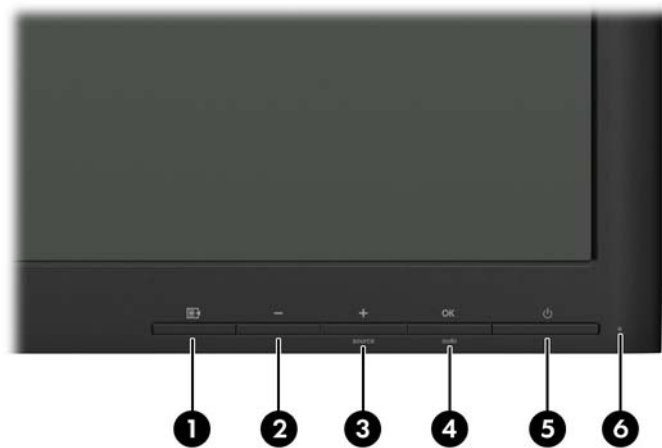



表 4-1　モニターのフロント パネルの各部

名称			機能
1		メニュー ボタン	オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューを表示したり、項目を選択したり、メニューを終了したりします
2	—	−（マイナス）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を逆方向に移動したり調整レベルを下げたりできます
3	＋ source	＋/source（プラス/ソース）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、メニューの項目間を順方向に移動したり調整レベルを上げたりできます OSD メニューが表示されていないときに押すと、ソース ボタンが有効になりビデオ信号入力（VGA、DVI、または DisplayPort）を選択できます
4	OK auto	OK/auto（OK/自動）ボタン	OSD メニューが表示されているときに押すと、強調表示されたメニュー項目が選択されます OSD メニューが表示されていないときに押すと、自動調整機能が有効になり画面表示を最適化できます
5		電源ボタン	モニターの電源のオン/オフを切り替えます
6		電源ランプ	青色：電源が入っている状態 オレンジ色に点灯：スリープ モード オレンジ色で点滅：スリープ タイマー モード

モニターの設定の調整

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）または[HP Display Assistant]ユーティリティを使用して、モニターの設定を調整できます。

注記： ディスプレイの設定に問題がある場合は、OSD を開き、OSD メニューから[**Factory Reset**]（出荷時設定にリセット）を選択することによって、設定を工場出荷時の設定に戻してみてください。

オンスクリーン ディスプレイ メニューの使用

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を使用して、ユーザーの好みに応じて画面表示を調整します。OSD にアクセスするには、以下の操作を行います。

1. モニターの電源が入っていない場合は、電源ボタンを押してモニターの電源を入れます。
2. OSD メニューにアクセスするには、モニターのフロント パネルにあるメニュー ボタンを押します。
3. OSD メニュー内を移動するには、モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンを押して上にスクロールするか、－（マイナス）ボタンを押して反対方向にスクロールします。
4. OSD メニューから項目を選択するには、＋ボタンか－ボタンでスクロールして選択する項目を強調表示させ、OK ボタンを押して機能を選択します。
5. フロント パネルの＋ボタンか－ボタンを押してスケールを調整します。
6. 機能を調整したら**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択します。または、設定を保存しない場合は、**[Cancel]**（キャンセル）→**[Main Menu]**（メイン メニュー）→**[Exit]**（終了）の順に選択します。

注記： メニューが表示されているときに 10 秒以上ボタンを押さないと、自動的にすべての変更が保存され、OSD が終了します。

オンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューの選択

以下の表で、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）のメニュー項目と各機能について説明します。OSD のメニュー項目を変更した後、メニュー画面に以下のオプションが表示される場合は、どれかを選択します。

- **[Cancel]**（キャンセル）：前のメニュー レベルに戻ります。
- **[Save and Return]**（保存して戻る）：すべての変更を保存して、OSD メイン メニューの画面に戻ります。この[Save and Return]オプションはメニュー項目を変更した場合にのみ有効です。

表 4-2 OSD メニュー

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
	Brightness（輝度）	調整用スケール	画面の輝度を調整します。工場出荷時の初期値は 90 です
	Contrast（コントラスト）	調整用スケール	画面のコントラスト レベルを調整します。工場出荷時の初期値は 80 です
	Color（色）		画面の色を選択します。工場出荷時の初期値は、モデルに応じて 6500 K またはカスタム カラーです
		Warm (5000K)（暖色（5000K））	わずかに赤味を帯びた白色へと、色を変更します
		Standard (6500K)（標準（6500K））	標準の色を使用します（初期設定）
		Cool (9300K)（寒色（9300K））	わずかに青味を帯びた白色へと、色を変更します
		Custom (RGB)（カスタム（RGB））	カラー スケールを選択および調整します • Red Color（赤色）：赤色のレベルを設定します • Green Color（緑色）：緑色のレベルを設定します • Blue Color（青色）：青色のレベルを設定します
	Image Control（イメージ コントロール）		画像を調整します（VGA 入力のみ）
		Auto Adjustment（自動調整）	画像を自動的に調整します
		Clock（クロック）	画面背景に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。[Clock]を調整することで、画像の水平表示も変更されます
		Clock Phase（クロックフェーズ）	画面の焦点を調整します。これによって、水平ノイズが取り除かれ、文字の表示が鮮明になります
		Horizontal Position（水平表示位置）	画像の左右の位置を調整します
		Vertical Position（垂直表示位置）	画像の上下の位置を調整します

表 4-2 OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		Custom Scaling（カスタム スケール）	モニターへの情報の表示方法を選択します。以下のどれかの方法を選択します • Fill to Screen（スクリーンに合わせる）: 画像が画面全体を占め、高さと幅が不均等なため歪んだり引き伸ばしたように見えたりします • Fill to Aspect Ratio（縦横比に合わせる）: 画像が画面に合うように調整されて、均等な画像表示を維持します
A		Sharpness（シャープネス）	画面の画像をより鮮明にまたはソフトに調整します
DCR		Dynamic Contrast Ratio（ダイナミック コントラスト比）	Dynamic Contrast Ratio 機能のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオフです
	OSD Control（OSD コントロール）		OSD コントロールの表示位置を調整できます
		Horizontal OSD Position（水平 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の左右に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		Vertical OSD Position（垂直 OSD 表示位置）	OSD メニューの表示位置を画面内の上下に移動します。工場出荷時の初期値は 50 です
		OSD Transparency（OSD 透明度）	OSD の背景にある情報を表示するよう調整します
		OSD Timeout（OSD タイムアウト）	ボタンを押してから OSD が表示され続ける時間の長さを秒単位で設定します。この範囲は 5～60 秒です。工場出荷時の初期値は 30 秒です
OSD		Rotate OSD（OSD の回転）	モニターのピボット機能をサポートするために、OSD メニューとメッセージを回転します。[Landscape]（横向き）または[Portrait]（縦向き）から選択します
	Management（管理）		OSD を選択し、モニターの電源管理機能を調整します
		Power Saver（省電力）	省電力機能を有効にします。以下のどちらかを選択します • On（オン） • Off（オフ） 工場出荷時の初期設定はオンです
		Power On Recall（再開時に電源オン）	予期せず電源がオフになった後にモニターへの電力を復旧します。以下のどちらかを選択します • On • Off 工場出荷時の初期設定はオンです

表 4-2　OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		Mode Display（モード表示）	OSD メイン メニューを表示するたびに、解像度、リフレッシュ レートおよび周波数の情報を画面に表示します。以下のどちらかを選択します ● On ● Off 工場出荷時の初期設定はオンです
		Monitor Status（モニター ステータス）	モニターの電源がオンになるたびに、モニターの動作状況を表示します。ステータスの表示位置を以下の中から選択します ● Top（上） ● Middle（中） ● Bottom（下） ● Off 工場出荷時の初期設定は上です
		DDC/CI Support（DDC/CI サポート）	コンピューターで、輝度、コントラスト、色温度などの一部の OSD メニュー機能を制御できるようにします。以下のどちらかを選択します ● On ● Off 工場出荷時の初期設定はオンです
		Bezel Power LED（ベゼルの電源ランプ）	モニターのフロント パネルにある電源ランプをオフにします。工場出荷時の初期設定はオンです
		Sleep Timer（スリープ タイマー）	タイマー調整のメニュー オプションを表示します ● Set Current Time（現在の時刻の設定）: 時間および分単位で現在の時刻を設定します ● Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）: モニターがスリープ モードに入る時刻を設定します ● Set on Time（電源オンの時刻の設定）: スリープ モードから復帰する時刻を設定します ● Timer（タイマー）: スリープ タイマー機能のオン/オフを設定します。初期設定はオフです ● Sleep Now（スリープ モードの実行）: 直ちにモニターがスリープ モードに入るように設定します
	Language（言語）		OSD メニューを表示する言語を選択します。工場出荷時の初期設定は英語です
	Information（情報）		モニターに関する重要な情報を選択/表示します

表 4-2　OSD メニュー（続き）

アイコン	メイン メニュー	サブメニュー	説明
		Current Settings（現在の設定）	現在のビデオ入力モードを表示します
		Recommended Settings（推奨設定）	お使いのモニターに推奨される解像度モードおよびリフレッシュ レートを表示します
		Serial Number（シリアル番号）	モニターのシリアル番号を表示します。シリアル番号は HP のテクニカル サポートにお問い合わせになる場合に必要となります
		FW Version（ファームウェア バージョン）	モニターのファームウェア バージョンを表示します
		Backlight Hours（バックライト動作時間）	バックライトの合計の動作時間を表示します
		Service Support（サービス サポート）	http://www.hp.com/support/
	Factory Reset（出荷時設定にリセット）		すべての OSD メニュー設定および DDC/CI サポートの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。ただし、言語設定は除きます
	Source Control（ソース コントロール）		ビデオ入力信号を選択します。工場出荷時の初期設定は DP（DisplayPort）です
		DisplayPort	ビデオ入力信号として DisplayPort を選択します
		DVI	ビデオ入力信号として DVI を選択します
		VGA	ビデオ入力信号として VGA を選択します
		Default Source（初期設定のソース）	モニターが 2 つの有効なビデオ ソースに接続されている場合に、初期設定または最優先されるビデオ入力信号を選択します。ビデオ方式は自動的に判断されます。以下のどれかを選択します • DisplayPort • DVI • VGA 工場出荷時の初期設定は DisplayPort です
ON-OFF		Auto-Switch Source（ソース自動切り換え）	システムの自動ビデオ信号入力のオン/オフを切り替えます。工場出荷時の初期設定はオンです
		Source Detection（ソース検出）	DisplayPort 入力が選択されている場合に、このオプションが OSD に表示されます。Source Detection の状態を以下のように設定できます • Always Active（常に有効） • Low Power（省電力） 工場出荷時の初期設定は、省電力です
	Exit（終了）		OSD メニュー画面を終了します

画質の最適化

OSD メニューの[Clock]（クロック）および[Clock Phase]（クロック フェーズ）を調節して、画質を向上させることができます。

注記： [Clock]および[Clock Phase]機能はアナログ入力を使用している場合にのみ調整できます。デジタル入力ではこれらの機能は調整できません。

[Clock Phase]の設定は[Clock]の設定に影響されるので、最初に[Clock]を正しく設定しておく必要があります。自動調整機能を使用しても期待する画質が得られない場合にのみこれらの機能を使用してください。

- **[Clock]**：画面に表示される縦線や縞模様を最小限に抑えます。
- **[Clock Phase]**：画像のちらつきやかすみを最小限に抑えます。

注記： これらの調整を行う場合は、自動調整用のソフトウェア ユーティリティを使用すると最適な結果が得られます。

[Clock]および[Clock Phase]の設定値を調整しているときにモニターの画像が歪む場合は、歪みがなくなるまで調整を続けます。工場出荷時の設定に戻すには、OSD メニューの[**Factory Reset**]（出荷時設定にリセット）から[**Yes**]（はい）を選択します。

縦線を除去するには、以下の操作を行います（クロック）。

1. モニターのフロント パネルのメニュー ボタンを押して[OSD Menu]（OSD メニュー）を表示し、[**Image Control**]（イメージ コントロール）→[**Clock**]の順に選択します。
2. モニターのフロント パネルにある＋（プラス）ボタンまたは－（マイナス）ボタンを押して、縦線を除去します。最適に調整されるポイントが過ぎてしまわないように、ボタンをゆっくりと押します。

   図 4-2 クロックの調整

3. クロックを調整しても画面にかすみ、ちらつき、線などが表示される場合は、続いてクロック フェーズを調整します。

ちらつきやかすみを除去するには、以下の操作を行います（クロック フェーズ）。

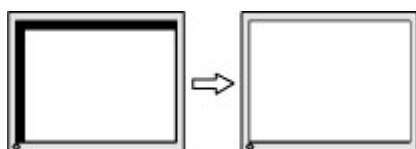
1. モニターのフロント パネルのメニュー ボタンを押して[OSD Menu]を表示し、[**Image Control**]→[**Clock Phase**]の順に選択します。
2. モニターのフロント パネルにある＋ボタンまたは－ボタンを押して、ちらつきやかすみを除去します。コンピューターまたは取り付けられているグラフィックス コントローラー カードによっては、ちらつきやかすみが除去されないことがあります。

   図 4-3 クロック フェーズの調整

画面の位置を調整するには、以下の操作を行います（水平表示位置または垂直表示位置）。

1. モニターのフロント パネルのメニュー ボタンを押して[OSD Menu]を表示し、[**Image Control**]→[**Horizontal Position**]（水平表示位置）または[**Vertical Position**]（垂直表示位置）の順に選択します。

2. モニターのフロント パネルにある＋ボタンまたは－ボタンを押して、モニターの表示領域内で画像が適切な位置に表示されるように調節します。[Horizontal Position]では画像を左右に移動し、[Vertical Position]では画像を上下に移動します。

図 4-4 水平または垂直表示位置の調整

[HP Display Assistant]ユーティリティの使用

[HP Display Assistant]は『Software and Documentation CD』（ソフトウェアおよびドキュメンテーション CD）に収録されているソフトウェア ユーティリティで、わかりやすい操作手順およびモニターの調整機能ごとの画面パターンによって、設定の調整を可能にします。[HP Display Assistant]では、以下の機能が使用できます。

- 操作手順のウィザードを使用した正確な画面調整（画質を全体的に最適な状態にします）
- ソフトウェアによるモニター画像および色の設定（モニターのフロント パネルのボタンとオンスクリーン ディスプレイ（OSD）メニューでの設定に依存する必要がなくなります）
- マルチユーザー環境でのユーザー別に定義済みの、プリセット ディスプレイ設定
- 表示内容および周辺光に基づいた、シングル ユーザー向けの複数のプリセット ディスプレイ設定
- 資産管理および電源管理の機能（中央コンソール アプリケーションによる、ドメイン上の個々または複数のディスプレイのリモート制御を含みます）

[HP Display Assistant]ユーティリティには 2 つの操作モード（ウィザード モードおよび OSD モード）があります。手順に沿った操作で正確な画面調整を行える、ウィザード モードの使用をおすすめします。この操作モードは一連の手順で構成されており、手順の完了とともに画面が最適な状態に設定されます。

注記： このソフトウェアについて詳しくは、[HP Display Assistant]の説明書を参照してください。

モニターの状態の確認

モニターが以下の状態になると、特別なメッセージがモニター画面に表示されます。

- **[Monitor Status]**：モニターの電源が入るか、入力ソース信号が変更されると、モニター ステータス メッセージが 5 秒間表示されます。このメッセージには、現在アクティブな信号の入力、ソース自動切り換え設定のステータス（オンまたはオフ）、初期設定のソース信号、現在のプリセット ディスプレイ解像度、および推奨されるプリセット ディスプレイ解像度が示されます。
- **[Input Signal Out of Range– Change resolution setting to 1600×900 – 60Hz]**：解像度およびリフレッシュ レートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターが入力信号をサポートできないことを示します。解像度を 1600×900、リフレッシュ レートを 60 Hz に設定してください（LA2006x モデルの場合）。
- **[Input Signal Out of Range– Change resolution setting to 1920×1080 – 60Hz]**：解像度およびリフレッシュ レートがモニターでサポートされる範囲より高く設定されているため、モニターが入力信号をサポートできないことを示します。解像度を 1920×1080、リフレッシュ レートを 60 Hz に設定してください（LA2206x および LA2306x モデルの場合）。
- **[No Source Signal]**：モニターがビデオ入力コネクタでコンピューターからのビデオ信号を受信していないことを示します。コンピューターまたは入力信号ソースがオフまたは省電力モードになっていないか確認してください。
- **[Auto Adjustment in Progress]**：自動調整機能が作動中であることを示します。
- **[Monitor Going to Sleep]**：モニターがスリープ モードになることを示します。
- **[Check Video Cable]**：ビデオ ケーブルがコンピューターに正しく接続されていないことを示します。
- **[OSD Lockout]**：フロント パネルにある**メニュー** ボタンを 10 秒間押し続けると、オンスクリーン ディスプレイ（OSD）を有効または無効にできます。OSD をロックすると、**[OSD Lockout]**（OSD のロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - OSD がロックされている場合、ロックを解除するには**メニュー** ボタンを 10 秒間押し続けます。
  - OSD のロックが解除されている場合、ロックするには**メニュー** ボタンを 10 秒間押し続けます。
- **[Power Button Lockout]**：電源ボタンがロックされていることを示します。電源ボタンをロックすると、**[Power Button Lockout]**（電源ボタンのロックアウト）という警告メッセージが 10 秒程度表示されます。
  - 電源ボタンがロックされている場合、ロックを解除するには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
  - 電源ボタンのロックが解除されている場合、ロックするには電源ボタンを 10 秒程度押し続けます。
- **[Dynamic Contrast Ratio On]**：ダイナミック コントラスト比がオンになっていることを示します。OSD メニューの［**Image Control**］（イメージ コントロール）でダイナミック コントラスト比がオンになっているときに表示されます。

- **[Dynamic Contrast Ratio Off]**：ダイナミック コントラスト比がオフになっていることを示します。OSD メニューの[**Image Control**]でダイナミック コントラスト比がオフになっているときに表示されます。
- **[Theft Mode Enabled]**：盗難防止モードが有効になっていることを示します。盗難防止は、[HP Display Assistant]で設定できるオプションの機能です。盗難防止モードは、電源ケーブルおよびディスプレイ ケーブルの両方がモニターから取り外されてから、モニターが別のコンピューターに再接続され、盗難防止の PIN 番号が一定時間内に入力されなかった場合に有効になります。モニターが盗難防止モードのときは、電源ボタン以外のすべてのフロント パネル ボタンが無効になります。

スリープ タイマー モード

スリープ タイマー モードは、毎日同じ時刻にモニターの電源を入れたり切ったりするように設定できる省電力機能です。この省電力機能を使用すると、モニターのバックライトの寿命を延ばすことができます。スリープ タイマー モードには 5 つの設定があります。

- Set Current Time（現在の時刻の設定）
- Set Sleep Time（電源オフの時刻の設定）
- Set On Time（電源オンの時刻の設定）
- Timer: On/Off（タイマー：オン/オフ）
- Sleep Now（スリープ モードの実行）

タイマーを設定するには、以下の操作を行います。

1. モニターのフロント パネルのメニュー ボタンを押して**[OSD Menu]**（OSD メニュー）を表示します。
2. メニューを下に移動して**[Management]**（マネジメント）を強調表示します。
3. OK ボタンを押して**[Management]**を選択します。
4. メニューを下に移動し、**[Sleep Timer]**（スリープ タイマー）→**[Set Current Time]**の順に強調表示して選択します。

> 注記： 必ず現在の時刻をあらかじめ設定しておいてから**[Sleep Time]**（電源オフの時刻）や**[On Time]**（電源オンの時刻）を設定してください。時刻は 24 時間単位で表示されます。たとえば、午後 1 時 15 分は 13 時 15 分と表示されます。
>
> 電源の障害が発生するか、またはモニターへの電力供給が遮断されると、タイマーが 00:00 にリセットされます。その場合は、スリープ タイマー モードをリセットする必要があります。

5. OK ボタンを一度押すと調整モードとなり、時間が点滅します。
6. －（マイナス）ボタンおよび＋（プラス）ボタンを使用して時間を設定します。
7. OK ボタンを再度押すと、分が点滅します。
8. －ボタンおよび＋ボタンを使用して分を設定します。
9. OK ボタンを押すと、設定した時刻が確定します。
10. 現在時刻を設定すると、自動的に**[Set Sleep Time]**へ移動し、時間が強調表示されて点滅します。手順 6～9 を繰り返し行って電源オフの時刻を調整します。

11. 電源オフの時刻を設定しない場合は、OK ボタンを 2 回押し、**[Save and Return]**（保存して戻る）を選択してメニューを終了します。

12. 電源オフの時刻を設定すると、自動的に**[Set On Time]**へ移動し、時間が強調表示されて点滅します。手順 6～9 を繰り返し行って電源オンの時刻を調整します。

13. **[Timer]**（タイマー）のモードを**[On]**（オン）に設定し、スリープ タイマーの設定を起動します。

14. 設定が完了したら、**[Save and Return]**を押してメニューを終了します。

5 番目の選択項目**[Sleep Now]**（スリープ モードの実行）を選択すると、モニターのバックライトがオフになり、スリープ モードになります。設定した電源オンの時刻になるか、またはモニター ボタンを押すと、電源がオンになります。

A トラブルシューティング

一般的なトラブルの解決方法

以下の表に、発生する可能性のあるトラブル、考えられる原因、および推奨する解決方法を示します。

トラブル	考えられる原因	解決方法
画面に何も表示されない	電源コードが外れている	電源コードを接続します
	モニターのフロント パネルにある電源ボタンがオフになっている	フロント パネルの電源ボタンを押します 注記： 電源ボタンを押しても電源が入らない場合は、電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックアウト機能を無効にします
	ビデオ ケーブルが正しく接続されていない	ビデオ ケーブルを正しく接続します。詳しくは、6 ページの 「モニターのセットアップ」を参照してください
	画面表示を消すユーティリティが有効になっている	キーボードの任意のキーを押すかマウスを動かして、画面表示を消すユーティリティを無効にします
モニターの画像が歪んでいる、文字がぼやけて不鮮明になっている、画質が低下している	コンピューターのグラフィックス カードの解像度が、モニターの推奨解像度よりも高くまたは低く設定されている	最高の画質を得るには、コンピューターのディスプレイ解像度をモニターで推奨されている解像度と同じモードに設定します
画像がぼやけている、不鮮明、または暗すぎる	輝度およびコントラストの設定が低すぎる	フロント パネルにある OK/auto（OK/自動）ボタンを押します。それでも画質が改善されない場合は、メニュー ボタンを押して OSD メニューを開き、必要に応じて輝度およびコントラストのスケールを調整します
画像の中心と画面の中心がずれている	位置を調整する必要がある	メニュー ボタンを押して OSD メニューを表示します。[Image Control]（イメージ コントロール）の[Horizontal Position]（水平表示位置）または[Vertical Position]（垂直表示位置）を選択して、画像の水平位置または垂直位置を調整します
[Check Video Cable]と画面に表示される	モニターのビデオ ケーブルが外れている	適切なビデオ ケーブル（DisplayPort、DVI、または VGA）で、コンピューターとモニターを接続します。ビデオ ケーブルを接続するときにコンピューターの電源がオフになっていることを確認してください
[Input Signal Out of Range.Change Settings to 1600 x 900 @ 60Hz]（LA2006x モデルの場合）、または**[Input Signal Out of Range.Change Settings to 1920 x 1080 @ 60Hz]**（LA2206x および LA2306x モデルの場合）と画面に表示される	ビデオ解像度やリフレッシュ レートが、モニターがサポートするレベルを超えるレベルに設定されている	コンピューターを再起動し、Safe モードに入ります。設定値をサポートされている値に変更します（37 ページの 「プリセット ディスプレイ解像度について」を参照してください）。コンピューターを再起動し、新しい設定値を有効にします

トラブル	考えられる原因	解決方法
モニターの電源は切れるが、省電力スリープ モードには移行していないように見える	モニターの省電力機能が無効になっている	モニターの OSD メニューで、［**Management**］（マネジメント）→［**Power Saver**］（省電力）の順に選択します。モニターを省電力モードに移行するには、この機能がオンに設定されている必要があります
[OSD Lockout]と画面に表示される	モニターの OSD ロックアウト機能が有効になっている	メニュー ボタンを 10 秒程度押し続けて、OSD のロックを解除します
[Power Button Lockout]と画面に表示される	モニターの電源ボタンのロックアウト機能が有効になっている	電源ボタンを 10 秒程度押し続けて、電源ボタンのロックを解除します

オンライン技術サポート

テクニカル サポート情報、ユーザー自身によるトラブル解決に役立つツール、オンライン サポート、コミュニティ フォーラムや IT 専門家、マルチ ベンダーによる広範囲の知識ベース、監視および診断用ツールについては、http://welcome.hp.com/country/jp/ja/contact_us.html にアクセスして参照してください。

お問い合わせになる前に

トラブルシューティングの項目やオンラインの技術サポートを参照しても問題が解決しない場合は、テクニカル サポートも利用できます。テクニカル サポートをご利用になる際に、以下のような情報を事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合があります。

- モニターのモデル番号
- モニターのシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- 問題が発生したときの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- 表示されたエラー メッセージ
- ハードウェア構成
- 使用しているハードウェアおよびソフトウェアの名前とバージョン

B　技術仕様

注記：　以下の仕様はすべて、HP 製品の各コンポーネントの製造元から提供された標準的な仕様を表しています。このため、実際の動作時の数値とは異なる場合があります。

LA2006x モデル

表 B-1　LA2006x モデルの仕様

ディスプレイ タイプ	50.8 cm ワイド スクリーン TFT LCD	20 インチ ワイド スクリーン
表示可能画像サイズ	50.8 cm（対角方向）	20 インチ（対角方向）
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-180～180°	
最大質量（非梱包時）	5.5 kg	12.1 ポンド
寸法（モニター台を含む） 高さ（最も高い位置のとき） 高さ（最も低い位置のとき） 奥行き 幅	 41.8 cm 31.6 cm 21.6 cm 48.4 cm	 16.5 インチ 12.5 インチ 8.5 インチ 19.0 インチ
最大グラフィックス解像度	1600×900（60 Hz）アナログ入力 1600×900（60 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1600×900（60 Hz）アナログ入力 1600×900（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.2768（縦）×0.2768（横）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	91.8 PPI	
水平周波数	24～83 kHz	
垂直周波数	50～76 Hz	
環境条件 動作保証温度： 動作時 保管時	 5～35°C -20～60°C	 41～95°F -4～140°F
相対湿度	20～80%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	

表 B-1 LA2006x モデルの仕様（続き）

動作保証高度：		
動作時	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
測定された消費電力：		
最大電力	34.0 W	
通常設定	29.0 W	
国際エネルギー スター プログラム試験方式	24.5 W	
スリープ時	0.5 W	
スイッチ オフ時	0.5 W	
入力端子	VGA コネクタ×1（ケーブル付属）、DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル別売）	

LA2206x モデル

表 B-2 LA2206x モデルの仕様

ディスプレイ	54.6 cm ワイド スクリーン	21.5 インチ ワイド スクリーン
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	54.6 cm（対角方向）	22 インチ（対角方向）
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-180～180°	
最大質量（非梱包時）	6.0 kg	13.2 ポンド
寸法（モニター台を含む）		
高さ（最も高い位置のとき）	43.9 cm	17.3 インチ
高さ（最も低い位置のとき）	33.4 cm	13.1 インチ
奥行き	22.7 cm	8.9 インチ
幅	51.8 cm	20.4 インチ
最大グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.248（縦）×0.248（横）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	102 PPI	
水平周波数	24～94 kHz	

表 B-2　LA2206x モデルの仕様（続き）

垂直周波数	50～76 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5～35°C	41～95°F
保管時	-20～60°C	-4～140°F
相対湿度	20～80%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
動作時	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
測定された消費電力：		
最大電力	38 W	
通常設定	33 W	
国際エネルギー スター プログラム試験方式	25 W	
スリープ時	0.5 W	
スイッチ オフ時	0.5 W	
入力端子	VGA コネクタ×1（ケーブル付属）、DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル別売）	

LA2306x モデル

表 B-3　LA2306x モデルの仕様

ディスプレイ	58.4 cm ワイド スクリーン	23 インチ ワイド スクリーン
タイプ	TFT LCD	
表示可能画像サイズ	58.4 cm（対角方向）	23 インチ（対角方向）
傾斜角度	-5～30°	
回転角度	-180～180°	
最大質量（非梱包時）	6.8 kg	15.0 ポンド
寸法（モニター台を含む）		
高さ（最も高い位置のとき）	46.6 cm	18.4 インチ
高さ（最も低い位置のとき）	35.1 cm	13.8 インチ
奥行き	25.0 cm	9.8 インチ
幅	55.2 cm	21.7 インチ

表 B-3　LA2306x モデルの仕様（続き）

最大グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
最適グラフィックス解像度	1920×1080（60 Hz）アナログ入力 1920×1080（60 Hz）デジタル入力	
テキスト モード	720×400	
ドット ピッチ	0.265（縦）×0.265（横）mm	
ピクセル密度（Pixels Per Inch）	95.8 PPI	
水平周波数	24～94 kHz	
垂直周波数	50～76 Hz	
環境条件 動作保証温度：		
動作時	5～35°C	41～95°F
保管時	-20～60°C	-4～140°F
相対湿度	20～80%	
電源	100～240 VAC、50/60 Hz	
動作保証高度：		
動作時	0～5,000 m	0～16,400 フィート
保管時	0～12,192 m	0～40,000 フィート
測定された消費電力：		
最大電力	40 W	
通常設定	35 W	
国際エネルギー スター プログラム試験方式	33.1 W	
スリープ時	0.5 W	
スイッチ オフ時	0.5 W	
入力端子	VGA コネクタ×1（ケーブル付属）、DVI コネクタ×1（ケーブル付属）、DisplayPort コネクタ×1（ケーブル別売）	

プリセット ディスプレイ解像度について

以下の表に示すディスプレイ解像度はこのモニターで使用される最も標準的なもので、工場出荷時設定として設定されています。モニターによってこれらのプリセット モードが自動的に認識され、正しいサイズの画像が画面の中央に表示されます。

LA2006x モデル

表 B-4　工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	59.9
2	720×400	31.5	70.1
3	800×600	37.9	60.3
4	1024×768	48.4	60.0
5	1280×720	45.0	60.0
6	1280×1024	64.0	60.0
7	1440×900	55.9	59.9
8	1600×900	60.0	60.0

表 B-5　高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	480p	720×480	31.5	60
2	576p	720×576	31.3	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60

LA2206x モデル

表 B-6　工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	59.9
2	720×400	31.5	70.1
3	800×600	37.9	60.3
4	1024×768	48.4	60.0
5	1280×720	45.0	59.9
6	1280×1024	64.0	60.0
7	1440×900	55.9	59.9
8	1680×1050	65.3	60.0
9	1920×1080	67.5	60.0

表 B-7 高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	480p	720×480	31.5	60
2	576p	720×576	31.3	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p50	1920×1080	56.3	50
6	1080p60	1920×1080	67.5	60

LA2306x モデル

表 B-8 工場出荷時のプリセット モード

プリセット	ピクセル フォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	640×480	31.5	59.9
2	720×400	31.5	70.1
3	800×600	37.9	60.3
4	1024×768	48.4	60.0
5	1280×720	45.0	60.0
6	1280×1024	64.0	60.0
7	1440×900	55.9	59.9
8	1680×1050	65.3	60.0
9	1920×1080	67.5	60.0

表 B-9 高解像度ビデオ フォーマット

プリセット	タイミング名	ピクセルフォーマット	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）
1	480p	720×480	31.5	60
2	576p	720×576	31.3	50
3	720p50	1280×720	37.5	50
4	720p60	1280×720	45	60
5	1080p50	1920×1080	56.3	50
6	1080p60	1920×1080	67.5	60

ユーザー モードの使用

以下のような場合、ビデオ コントローラーから送られてくる信号がプリセット モードと一致しないことがあります。

- 標準グラフィックス アダプターを使用していない場合
- 標準グラフィックス アダプターを使用しているがプリセット モードを使用していない場合

このような場合、オンスクリーン ディスプレイ メニューでモニターのパラメーターを再調整する必要があります。変更は、適用したいモードすべてに対して行うことができ、メモリに保存されます。モニターには新しい設定が自動的に保存され、これらのモードはプリセット モードと同様に自動的に認識されます。プリセット モードの他に、10 以上のユーザー モードを新しく登録して保存できます。

エナジー セーブ機能

このモニターでは、省電力状態がサポートされます。水平同期信号と垂直同期信号の一方または両方が検出されない場合、モニターは省電力状態になります。このように信号が検出されない場合は、モニターの画面には何も表示されず、バックライトはオフになり、電源ランプはオレンジ色に点灯します。モニターが省電力状態になると、0.5 W の電力しか消費されません。短時間のウォームアップ後に通常の動作モードに戻ります。

エナジー セーブ機能の設定の手順について詳しくは、コンピューターに付属の説明書を参照してください（エナジー セーブ機能は、省電力機能、パワー マネジメント機能、節電機能など、説明書によって名称が異なる場合があります）。

注記： モニターの省電力機能は、エナジー セーブ機能を備えたコンピューターに接続されている場合にのみ有効です。

モニターのエナジー セーブ ユーティリティ内で設定値を選択すると、事前に決めた時刻にモニターが省電力状態になるように設定することもできます。モニターのエナジー セーブ ユーティリティによってモニターが省電力状態になると、電源ランプはオレンジ色で点滅します。

C　規定に関するご注意

Federal Communications Commission Notice（米国向け）

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rule. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with the FCC Logo (United States Only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding the product, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 530113

Houston, Texas 77269-2000

Or, call 1-800-HP-INVENT (1-800 474-6836)

For questions regarding this FCC declaration, contact:

Hewlett Packard Company

P. O. Box 692000, Mail Stop 510101

Houston, Texas 77269-2000

Or, call (281) 514-3333

To identify this product, refer to the Part, Series, or Model number found on the product.

Canadian Notice（カナダ向け）

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Avis Canadien（カナダ向け）

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union Regulatory Notice（欧州連合向け）

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC, where applicable

CE compliance of this product is valid if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family and available (in English only) either within the product documentation or at the following web site:http://www.hp.eu/certificates (type the product number in the search field).

The compliance is indicated by one of the following conformity markings placed on the product:

	For non-telecommunications products and for EU harmonized telecommunications products, such as Bluetooth® within power class below 10mW.
	For EU non-harmonized telecommunications products (If applicable, a 4-digit notified body number is inserted between CE and !).

Please refer to the regulatory label provided on the product.

The point of contact for regulatory matters is:Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS:HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

German Ergonomics Notice（ドイツ向け）

HP products which bear the “GS” approval mark, when forming part of a system comprising HP brand computers, keyboards and monitors that bear the “GS” approval mark, meet the applicable ergonomic requirements. The installation guides included with the products provide configuration information.

日本向け

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

Korean Notice（韓国向け）

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

電源コードの要件

このモニターの電源には自動ライン電圧切替機能（ALS）が付属しています。この機能によって、モニターは 100～120 V または 200～240 V の AC 電圧で動作します。

このモニターに付属の電源コードおよびプラグは、電気用品安全法に適合しており、日本国内でご使用いただけます。

お買い上げの製品を海外でお使いになる場合は、その国で認定された電源コードをお買い求めください。

電源コードは、製品のラベルに記載された電圧および電流の定格に適合したものでなければなりません。ラベルに記載されている値より大きい定格のコードを使用してください。また、ワイヤの直径は 0.75 mm²/18 AWG 以上、長さは 1.8～3.6 m でなければなりません。使用する電源コードの種類については、HP のサポート窓口までお問い合わせください。

電源コードの上には物を置かないでください。また、誤って踏んだり足を引っかけたりしないように、プラグ、コンセント、および製品側の電源コネクタの取り扱いにも注意して配線してください。

日本国内での電源コードの要件

この製品を日本国内で使用する場合は、製品に付属の電源コードのみをお使いください。

△ **注意：** 付属の電源コードを、他の製品で使用しないでください。

製品環境に関するご注意

国際エネルギー スター プログラムへの準拠

エネルギー スターの認定マークが貼付されている HP のディスプレイは、米国環境保護局（EPA）のエネルギー スター プログラムに準拠しています。エネルギー スターの認定マークは、EPA によって承認されているものではありません。当社は国際エネルギースター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムのディスプレイの省エネルギー基準に適合していると判断します。

以下のマークは正規のエネルギー スター認定のすべてのディスプレイに貼付されています。

ディスプレイおよびコンピューター用のエネルギー スター プログラムの仕様は、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として作成されたものです。このため、HP の製品には、Microsoft Windows の電源管理機能によって、製品を使用していないときにエネルギー消費を削減する省電力機能が搭載されています。

電源管理機能によって、一定の時間使用していない状態が続くと、コンピューターが省電力モードまたは「スリープ」モードに切り替わります。また、エネルギー スター プログラムの認定を受けた外部ディスプレイを接続して電源管理機能を使用する場合、この機能では、ディスプレイの類似の電源管理機能もサポートされます。この機能を活かすには、ユーザーはエネルギー スター認定のコンピューターおよびディスプレイで提供されている電源管理の初期設定を使用する必要があります 。システムが外部電源で動作している場合は、この電源管理の初期設定によって、エネルギー スター認定のコンピューターが以下の動作を行うように設定されています。

- 無操作状態が続くと、15 分後に外部ディスプレイの電源がオフになる
- 無操作状態が続くと、30 分後に省電力のスリープ モードを開始する

ユーザーがコンピューターの使用を再開した場合は、エネルギー スター認定のコンピューターでは省電力のスリープ モードを終了します。また、エネルギー スター認定のディスプレイでは操作を再

開します。これには、ユーザーが電源/スリープ ボタンを押した場合、入力デバイスから入力信号を受信した場合、有効になったウェイク オン LAN（WOL）機能を使用してネットワーク接続から入力信号を受信した場合などがあります。

エネルギー スター プログラムの環境への貢献、電源管理機能によるエネルギー消費および経費の節減の可能性について詳しくは、EPA のエネルギー スターの電源管理に関する Web サイト（http://www.energystar.gov/powermanagement/、英語サイト）を参照してください。

有害物質の破棄

一部の HP LCD モニターには、廃棄の際に特別な処理を必要とする水銀が蛍光ランプに含まれています。

これらの物質の廃棄には環境保護のための規定が設けられている場合があります。廃棄またはリサイクルについての情報は、お住まいの地域の自治体または EIA（Electronic Industries Alliance）（http://www.eiae.org/、英語サイト）に問い合わせてください。

Disposal of Waste Equipment by Users in Private Household in the European Union（欧州連合向け）

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling or waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact the local city office, the household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

HP リサイクル プログラム

HP では、使用済みの電子機器や HP 製インク カートリッジのリサイクルを推奨しています。日本でのリサイクル プログラムについて詳しくは、http://h50146.www5.hp.com/program/suppliesrecycling/jp/ja/hardware/index.asp を参照してください。

化学物質

HP では、REACH（Regulation EC No 1907/2006 of the European Parliament and the Council）などの法的要件に準拠するため、弊社製品に含まれる化学物質に関する情報を、必要に応じてお客様に提供することに努めています。お使いの製品の化学物質情報に関する報告書を参照するには、http://www.hp.com/go/reach/（英語サイト）にアクセスしてください。

製品の部材表示について

日本における製品含有表示法、JISC0950, 2008 に基づき、製造事業者は、2006 年 7 月 1 日以降に販売された電気・電子機器の特定化学物質の含有について情報提供を義務付けられました。製品の部材表示につきましては、http://www.hp.com/go/jisc0950/（英語サイト）を参照してください。

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

根据中国《电子信息产品污染控制管理办法》

LCD 显示器

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
液晶显示屏 – CCFL	X	X	O	O	O	O
液晶显示屏 – WLED	X	O	O	O	O	O
机箱 / 其他	X	O	O	O	O	O

O: 表示该有毒或有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。

X: 表示该有毒或有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。

表中标有 "X" 的所有部件都符合欧盟 RoHS 法规，即 “欧洲议会和欧洲理事会 2003 年 1 月 27 日关于在电子电气设备中限制使用某些有害物质的 2002/95/EC 号指令”。

注：环保使用期限的参考标识取决于产品正常工作的温度和湿度等条件。

Turkey EEE Regulation（トルコ向け）

In Conformity with the EEE Regulation

EEE Yönetmeliğine Uygundur

D　LCD モニターの品質およびピクセルに関する方針

この TFT モニターは、トラブルが発生しない高い性能を保証するために、高精度の技術を使用し、HP の製造基準に基づいて製造されています。それでもなお、ディスプレイに小さな輝点、暗点、または黒点が現れるという外見上の欠陥が発生する場合があります。これはどのメーカーから提供されるLCD ディスプレイにも共通するもので、HP 製の LCD に特有の問題ではありません。1 つ以上のピクセルまたはサブピクセルに欠陥がある場合、この問題が発生します。

- 1 つのピクセルは、赤、緑、青のそれぞれ 1 つずつのサブピクセルで構成されています。
- 欠陥のあるピクセルは、常に点灯している（暗い画面に輝点が表示される）場合と、常に消灯している（明るい画面に暗点が表示される）場合があります。点灯しているピクセルは、よりはっきりと確認できます。
- 欠陥のあるサブピクセル（欠陥ドット）は、欠陥のあるピクセルより見えづらくなっています。これは、サブピクセルが小さく、特定の背景画面のときにしか確認できない場合があるためです。

欠陥のあるピクセルを確認するには、モニターを通常の動作環境、通常の動作モード、およびサポートされる解像度とリフレッシュ レートで使用し、画面から 50 cm ほど離れた位置で見ます。

業界での技術改良が進み、外見上の欠陥が少ない LCD が生産されるようになることが期待されます。HP では、製品の改良に合わせてガイドラインを調整していく予定です。